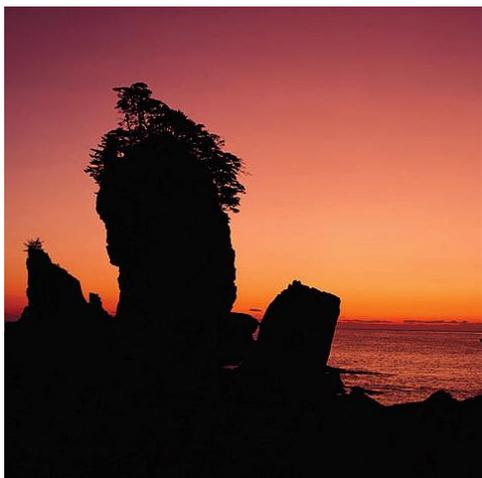
ふるさと
岩 手
応援寄付

～平成30年度事業実施状況のお知らせ～

御挨拶

平成30年度寄附者の皆様

この度は、本県へ温かい御寄附を賜り誠にありがとうございました。

お陰様で、平成30年度は918件、68,593,263円もの御支援をいただきました。皆様の「岩手県を応援したい!」という気持ちに恥じぬよう、お選びいただいた事業にて大切に使わせていただきます。

さて、本書では各事業(寄附金の使途)の実施状況について、いち早く寄附者の皆様にお伝えするべく、一冊にまとめましたので御一読いただければ幸いです。

岩手県では、東日本大震災や平成28年台風第10号大雨災害からの復興をはじめ、皆様の応援に応えられる県政を推進して参ります。

今後とも、御支援のほどよろしくお願いいたします。

令和元年9月吉日

岩手県

目次

三陸の未来を拓く三陸鉄道の活性化・利用促進等に向けた支援

＜H30 実績＞

97 件　5,064,999 円

＜H30 取組状況＞

三陸鉄道は今年３月 23 日に、ＪＲ山田線（宮古・釜石間）の経営移管を受け、これまでの南北リアス線と一つにつながり、盛駅から久慈駅までの 163km をリアス線として新たなスタートを切りました。皆様からいただいたご寄附は、三陸鉄道の更なる利用促進に繋げるため、主に次のような事業に活用しました。

利用者の底上げに向けた事業

①　園児お絵かき遠足列車等運行支援事業

沿線市町村の園児を対象にした「園児お絵かき列車の運行支援や園児の応募作品の展示及び入賞者への表彰を実施しました。

②　沿線等利用等利用促進事業

沿線の市町村や各種団体が主体となった提案型による三陸鉄道を活用した企画列車やツアー造成の支援を実施しました。

③　お祭り経費補助事業

三陸鉄道が主催した３鉄まつり、秋の三鉄祭りへの助成を実施しました。

交流人口の拡大に向けた事業

①　戦略的情報発信強化事業

雑誌やＳＮＳでの情報発信、イベントへのブース出展等により三陸鉄道のＰＲを実施しました。

②　企画列車造成支援事業

北リアス線において、小学生に人気の「かいけつゾロリ」と一緒に三陸を冒険する企画列車を運行しました。

機会や環境変化を捉えた利用促進の取組強化に向けた事業

①　山田線移管・機運醸成事業

リアス線開通に向けたＰＲポスターの作成や、山田線区間の踏切事故防止を図るためのキャンペーンの実施、開通 100 日前から三陸鉄道ホームページ等においてカウントダウン企画を実施しました。

【３鉄祭りの様子】

【山田線移管ＰＲポスター】

【踏切事故防止キャンペーン】

【担当課】
政策地域部交通政策室地域交通担当
電話：019-629-5218

三陸防災復興プロジェクト2019の開催事業

＜H30 実績＞

5件　190,000円

＜H30 取組状況＞

寄附金の使い道は、プロジェクトの広報活動や、2018年のプレイベントをはじめ、2019のプロジェクトの本開催の費用に活用させていただきます。

【開催概要】

◆　名称
　三陸防災復興プロジェクト2019

◆　開催趣旨
　復興に取り組む姿を発信し、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、東日本大震災津波の記憶と教訓を伝え、国内外の防災力向上に貢献する総合的な防災復興行事として、三陸防災復興プロジェクト2019を開催します。具体的には、防災や復興をテーマにしたシンポジウム、三陸鉄道の車両や駅を活用した企画のほか、市町村や民間団体等が主体的に実施するイベントなどを三陸地域全体で一体的に開催します。

◆　開催期間
　2019年6月1日（土）～8月7日（水）まで　計68日間

◆　開催場所
　岩手県沿岸部の13市町村
　（宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、
　大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町）

［ポスター、チラシ］

［プレイベント］

【担当課】
三陸防災復興プロジェクト2019推進室
電話：019-629-6222

東日本大震災津波伝承館の整備事業

〈H30 実績〉

7件　307,752円

〈H30 取組状況〉

皆様からいただいたご寄附は、「東日本大震災津波伝承館」（愛称：「いわて TSUNAMI（つなみ）メモリアル」）の整備事業に活用させていただきます。

陸前高田市で整備が進む「高田松原津波復興祈念公園」内に整備する当該施設は、「いのちを守り、海と大地と共に生きる」を展示のテーマに、三陸の津波災害の歴史や、東日本大震災津波、復興の取組に関わる映像、写真、被災物などを展示し、東日本大震災津波の悲劇を繰り返さないため、震災の事実と教訓を後世に伝承するとともに、復興の姿を国内外の人々に発信し、支援をいただいた全ての方々に感謝の気持ちを伝えます。

「東日本大震災津波伝承館」を含む国営追悼・祈念施設全景	展示のイメージ（被災物の展示）

「東日本大震災津波伝承館」の情報は公式 SNS でも発信しています。

fecebook
いわてTSUNAMIメモリアル　検索

twitter
いわてTSUNAMIメモリアル　検索
Instagram
Iwate_tsunami_memorial　検索
【担当課】
復興局震災津波伝承課
電話：0192-22-9391

ラグビーワールドカップ 2019™を契機とした観光客受入れ等の基盤整備に関する事業

＜H30 寄附実績＞

16 件 5,920,000 円

寄附金の使い道については、基本的に大会開催を契機とした観戦客をはじめとする国内外から本県への来訪者に対するおもてなし向上など、受入態勢の整備に活用していきます。

＜H30 取組状況＞

1　大会概要

(1) **大会概要**

◆期間 2019 年 9 月 20 日(金)～11 月 2 日(土)　[44 日間]

◆会場 札幌市／岩手県・釜石市／埼玉県・熊谷市／東京都／神奈川県・横浜市
静岡県／愛知県・豊田市／大阪府・東大阪市／神戸市／福岡県・福岡市／熊本県・熊本市／大分県　[全国 12 都市]

(2) **釜石会場対戦カード**

2　大会に向けたH30 取組内容

＜大会機運の醸成＞
＜主な取組実績＞
(1) イベント開催(500 日前、１年前イベント等)　(2) ＰＲブースの出展及び情報発信
(3) 特設サイト「いわて・かまいしラグビー情報」開設　(4) 独自ボランティア「いわて・かまいしラグビー応援団」の募集

＜観客等の受入態勢の構築＞
＜主な取組実績＞
(1) 大会公式ボランティアの募集　(2) 外国人おもてなし研修会の開催
(3) 「都市装飾計画書（案）」作成、大型都市装飾の実施　(4) 「ファンゾーン運営計画書（案）」作成

＜観客等の円滑な輸送の確保＞
＜主な取組実績＞
(1) 「交通輸送実施計画（案）」作成　(2) パーク&ライド駐車場やバス乗降場等の確保
(3) バス車両の確保や鉄道の増便・増結要請などの輸送力の確保

＜警備・防災・医療など安全安心の確保＞
＜主な取組実績＞
(1) 「ラストマイル、観客輸送警備計画（案）」「ファンゾーン警備計画（案）」作成
(2) 関係機関と連携した避難路、避難方法の検討　(3) 医療体制構築に向けた医師、看護師確保

スタジアムオープニングイベント
キックオフ宣言

スタジアムオープニングイベント
メモリアルマッチ

スクラムいわてフィフティーン
結成式

海外青少年招聘事業
(ニュージーランド)

【担当】
ラグビーワールドカップ 2019 推進室
電話：019 - 629 - 6796

いわての学び希望基金

＜H30 実績＞

659 件　28,758,895 円

＜H30 取組状況＞

【寄附の趣旨】
　東日本大震災津波により被災した子どもたちが、自らの希望に沿った学校を卒業し、社会人として独り立ちするまで、息の長い支援を行うことを目的に、全国の皆さまからの善意の寄附を広く募っています。

【寄附金の活用例】
○奨学金給付事業
　震災により親を失った児童・生徒等に対して奨学金を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行っています。
○教科書購入費等給付事業
　被災した高校生に対し、入学一時金や教科書購入費、修学旅行費等を支援しています。
○被災地生徒運動部活動支援事業
　運動部活動において、被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会に参加するために必要な交通費等を支援しています。
○被災地児童生徒文化活動支援事業
　文化活動において、被災した小・中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会やセミナーに参加するために必要な交通費等を支援しています。
○被災地通学支援事業費補助
　被災した生徒等に対する通学の支援を図るため、通学定期券購入費の助成を行っています。

【授業風景】

【文化祭の様子】

【担当課】
復興局復興推進課管理担当
電話：019-629-6922

国際リニアコライダーの実現

＜H30 実績＞

８件　270,115 円

＜H30 取組状況＞

国際協力で建設される世界最先端の研究施設「国際リニアコライダー（ILC）」の実現に向けて、国内外への情報発信や立地環境に関する調査研究など、建設候補地として積極的な活動を展開するための、次のような事業に活用します。

1　ILCキャラバンの実施

県内各地の地域コミュニティや職場、学校などに職員を派遣し、ILCの科学的な知識を提供したり、受け入れに向けた取組みについて一緒に考える、ILCキャラバンを実施しています。

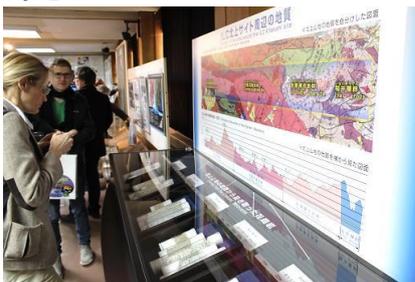
2　子供たちをはじめ、広く県内外に向けた各種啓発

様々なイベントや科学教室などに出展して、模型や人形なども使いながら、わかりやすくILCを発信しています。また、ポスターやパンフレット、マンガ、ホームページで公開する動画なども製作し、将来を担う若い世代に向けて情報提供しています。

3　加速器関連産業の振興

ILCの心臓部である「超伝導加速空洞」をはじめ、稼動に必要な各種機器や、研究機関で使われる設備などの技術を学び、関連産業への参入機会を確保するためのセミナーや勉強会を実施しています。

4　立地環境に関する調査研究

世界中の研究者が注目する候補地である北上サイトについて、その地質や立地環境、社会インフラなどの情報をはじめ、研究者の生活に資する食や観光の情報まで、様々な現地の情報を調査し、英語版のホームページを通じて世界に向けて発信しています。

【担当課】
ILC 推進局　事業推進課
電話：019-629-5203

いわて社会貢献・復興活動支援基金

＜H30 実績＞

10 件　247,000 円

＜H30 取組状況＞

いわて社会貢献・復興活動支援基金は、復興・被災者支援活動や県内各地の様々な地域課題を解決するための取組を行うＮＰＯ等への活動費助成に加え、ＮＰＯ等が持続可能な地域社会づくりの担い手として期待されていることに対応し、その運営基盤を強化するための取組などに充てています。

【基金の活用例】

● **ＮＰＯ等による復興支援事業**

H30 年度は、地元中学生等と復興支援を続ける県外インターナショナルスクールの生徒とが連携したラグビーワールドカップ 2019 釜石大会を盛り上げるための多言語マップ制作や、被災地で活動するＮＰＯ法人の事務処理能力向上のための出前相談会等に取り組むＮＰＯ等に対し、活動費を助成しました。

● **ＮＰＯ等運営支援事業**

ＮＰＯ法人の人材育成のための講習会等の開催、自立的・持続的な活動につなげるため、企業等との交流会や勉強会（セミナー）を開催するなどＮＰＯ等の運営基盤強化に取り組んでいます。

● **事業型ＮＰＯ育成事業**

地域課題解決に向けた事業（ソーシャルビジネス）の立ち上げ方等を習得するための講座を実施するなど、事業収入で運営を行う事業型ＮＰＯの育成に取り組んでいます。

多言語マップ制作ワークショップの様子
（一般社団法人 根浜ＭＩＮＤ）

企業とＮＰＯ等の交流会でのプレゼンの様子
（特定非営利活動法人 まんまるママいわて）

【担当課】
環境生活部若者女性協働推進室連携協働担当
電話：019-629-5199

災害復旧等対策

産業再生推進費・復興まちづくり支援事業分野

＜H30 実績＞

74 件　2,240,742 円（全体数）

＜H30 取組状況＞

【産業再生推進費】

三陸地域の産業の復旧、復興を促進するため「さんりく産業振興プロジェクト」の取組を推進するものです。

このプロジェクトは、安全・安心で高品質な産品の提供や高い生産性と収益性を実現する農林水産業の振興、三陸地域の資源を生かした地場産業の振興や新産業の創出などにより、広く三陸地域全体の産業の振興を図ることを目的としています。

新たな産業の創出については、復興まちづくりに合わせたなりわいの再生を図るため、若者や女性等の起業・新事業進出等を促進することにより、多様な事業体による産業の創出につなげています。

【復興まちづくり支援事業費】

復興事業の円滑かつ迅速な実施を目的として、各市町村が事業実施に必要な許認可の特例等に関する事務手続を支援するとともに、被災地における土地の利活用促進を図るための情報収集や課題把握に努めています。

また、被災された方に対して身近な社会資本の整備に関する情報を提供しています。

【担当課】
復興局まちづくり・産業再生課
電話：019-629-6931

災害復旧等対策

平成28年台風第10号大雨等災害復旧分野

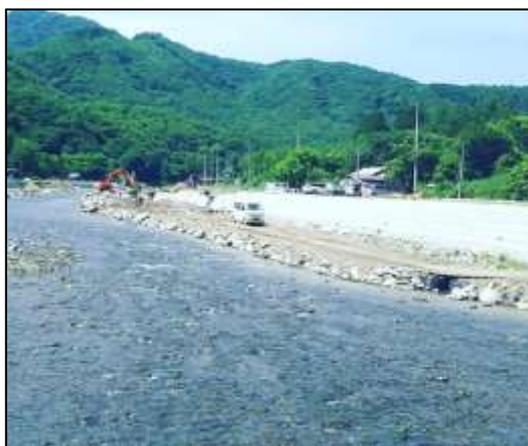
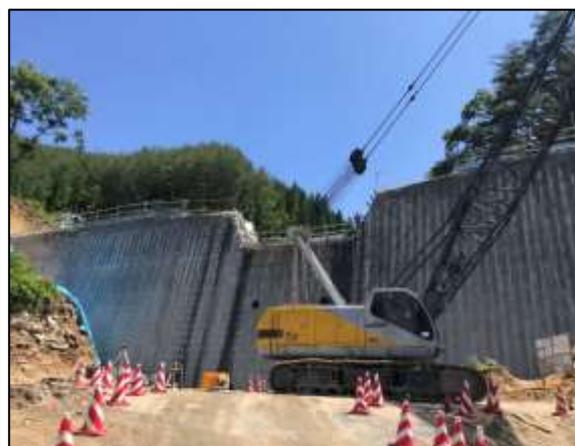
＜H30実績＞

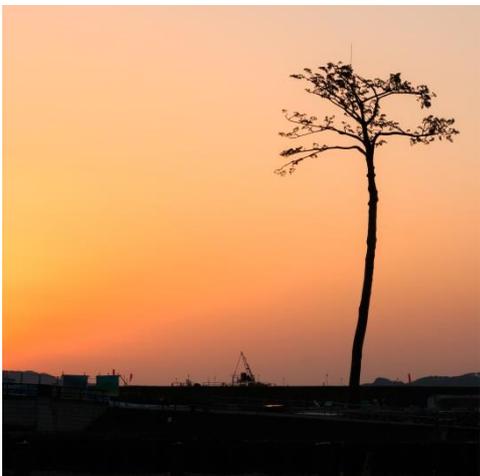
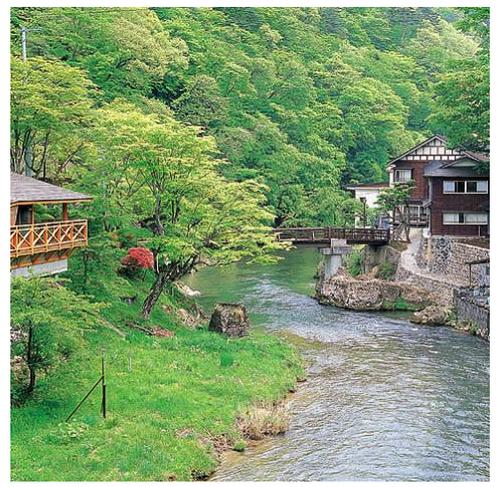
74件　2,240,742円（全体数）

＜H30取組状況＞

【事業の特色】

平成28年台風第10号災害の発災から約３年が経過し、被災地では災害復旧工事や、被災した河川の改修など、復旧・復興に向けた動きが一歩一歩確実に進んでいます。

しかし、一方で、令和元年６月１日現在、未だ89世帯の方が応急仮設住宅での生活を余儀なくされており、今後も、被災した道路や河川の復旧等を迅速に進めるとともに、被災者の住宅再建や心のケアなど、被災者一人ひとりに寄り添った支援を行っていく必要があります。

岩泉町安家川河川改修工事

岩泉町上乙茂の沢砂防工事

【担当課】
地域振興室県北沿岸振興担当
電話：019-629-5212

問い合わせ先/岩手県総務部税務課　管理企画担当
〒020-8570　岩手県盛岡市内丸10-1
電話:019-629-5144　FAX:019-629-5149
岩手県ホームページ「ふるさと岩手応援寄付のお知らせ」